

宮大工新聞



宮大工が建てる自然素材の家「宮大工新聞」は、皆様と内田工務店を結ぶネットワークです。京都で修業し、文化財建物木工技能者認定を受けた宮大工棟梁が手掛ける、自然素材住宅のご案内です。安心安全な木材を使用し、宮大工の伝統の技が光る唯一無二の住宅を、皆様の手の届く価格で提供します。日頃聞けない、宮大工ならではの話しもたくさんお届けします。おたのしみ！！

本年も、内田工務店を
宜しくお願い申し上げます。



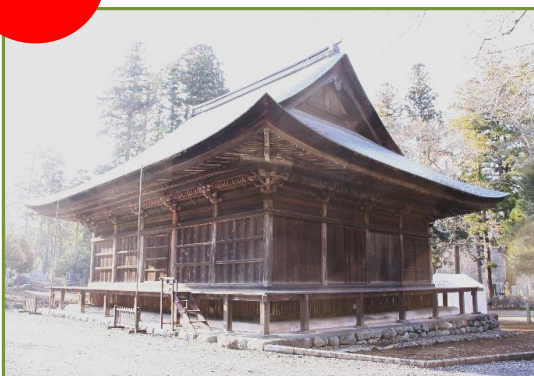
新しい年、皆様、いかがお過ごしでしょうか？
私(宮大工棟梁 内田幸夫)は、年末、初詣にお越しの方々をお迎えるための設えづくりの依頼を受け、30日まで仕事をしておりました。元日には建物探訪のため栃木から茨城へ、2日には毎年恒例の大山阿夫利神社へお参りに出かけました。
写真はお正月の我が家の神棚です。昨年とほとんど同じ写真に見えますが、毎年変わらず無事に新年を迎えられるというのは幸せなこと。平成26年がまた、皆様にとって良い年でありますよう、心よりお祈り申し上げます。



写真左： 毎年、初詣の際にお蔵いをしていただき、お札を神棚に上げます。お守り8つの内5つは「交通安全」。会社の車に付けます。
写真中： 知る人ぞ知る伊勢原名物の一つ「大山コマ」。私も子どもの頃は熱く買ったものです。お参りの帰り、その名も「コマ参道」で子供たち用に購入。写真右： うまく回せるようになると楽しいのです。競技大会もあるんですよ。



平成26年最初の建物探訪は栃木と茨城へ行きました。



←地蔵院本堂は、関東ではまれに見る中世の素晴らしい建物です。お正月の3日間のみ公開される内部も何度みても飽きない素晴らしさでした

←室町の特徴が随所に見られる綱神社

↓綱神社境内にある大倉神社

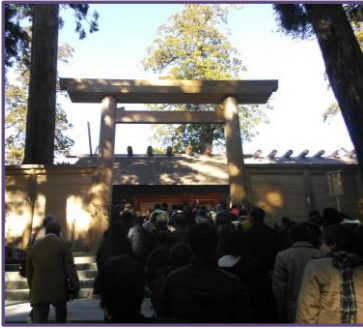
→茨城に移動して小山寺三重塔へ



新年1月1日、室町の美を今に伝える4つの重要文化財を堪能しました。

平成25年最後の建物探訪は伊勢神宮でした。

写真右：20年で替わった屋根



去る12月8日、9日。伊勢で開催された日本伝統建築技術保存会の研修会に参加。その前に短い時間でしたが伊勢神宮へ。何度見ても洗練と上質の仕事に感服させられます。20年に一度の遷宮の年、普段は立ち入ることのできない内部を歩くことができ、建物を間近に見ることができました。

写真左：大勢の方が参拝されていました



遷宮の今だけの恩恵。新旧の御社を拝見する、貴重な経験をさせていただきました。

自得寺 改修工事 は今

見学会を行いました。

昨年12月18日に近くの小学校5年生約80名と教師をお招きし、本堂改修工事の見学会を行いました。

めったに立ち入ることのできない伝統建築の工事現場の見学に加え、土壁塗りや鉋かけの体験もしてもらいました。

工事の進行をしばしストップしてまでもこうした会を持つのは、次代を担う子供たちにこそ、世界に誇る日本の伝統の技を肌で感じてもらいたいと願うからに他なりません。彼らが6年生の春に工事が完了します。その時、この現場がどうなっているか。ぜひ見て欲しいと思います。

12月22日には檀家の皆様にお越しいただき、現場をご覧いただきました。



1月現在。本堂は屋根の桔木(はねぎ)の取替えを無事完了しました。この後、屋根の下地にとりかかります。極寒の中、春の完成を目指し、皆、頑張っています。

ご住所

お名前

- 1.メールで配信してほしい
- 2.郵送してほしい
- 3.配信・郵送を停止してほしい

希望番号

メールアドレス uchida@miyadaiku.jp
ファックス 0463-93-6591
(ファックスの場合はそのまま送信下さい。)

新規配信郵送や配信方法変更を希望される方はメール・ファックスにてお知らせ下さい。